

南幌町学校教育における生成A I 利活用方針

令和8年6月1日

第1版

はじめに

本方針は、南幌小学校及び南幌中学校における生成A I の利活用について、南幌町教育委員会が定める基本的な考え方及び指針を示すものである。

本方針は、文部科学省「初等中等教育段階における生成A I の利活用に関するガイドライン」（令和6年12月26日公表）を踏まえ、南幌町の教育環境及び実情に応じて整理したものである。

本方針は、教職員及び児童生徒が生成A I を安全かつ効果的に活用するための指針として作成したものである。

本方針においては、「誰のための指針であるか」を明確にすることを重視し、校務利用と学習利用を区分して記載している。

本方針は、生成A I の利用を一律に禁止することを目的とするものではなく、その特性や課題を理解した上で、適切な利活用を推進することを目的とする。

第1編 概論

1 生成A I とは

生成A I とは、文章、画像、音声、プログラム等を自動的に生成できる人工知能技術のことである。代表的なサービスとして、ChatGPT、Claude、Gemini、Copilot、Grok等が挙げられる。

従来の検索エンジンは既に存在する情報を検索して表示するものであったが、生成A I は利用者からの質問や指示に応じて新たな文章や情報を生成することに特徴がある。

現在、生成A I は社会の様々な場面で活用が進んでおり、教育分野においても学習支援、情報整理、アイデア創出、文章作成補助、プログラミング支援等、多様な活用が期待されている。

一方で、生成A I は万能ではなく、誤った情報を生成する場合があるほか、著作権、個人情報保護、情報モラル等に関する課題にも十分留意する必要がある。

2 本方針における生成A I 活用の考え方

南幌町教育委員会は、生成A I を児童生徒の情報活用能力を育成し、学びを深めるための手段の一つとして位置付ける。

また、教職員においては、校務の効率化や教材研究支援等に活用することで、教職員の負担軽減及び教育活動の充実につなげることを目的とする。

3 生成A I 利用の基本原則

(1) 人による最終確認を行うこと。

生成A I が生成した内容については、必ず人が内容を確認し、必要に応じて修正を行うこと。

(2) 個人情報等を入力しないこと。

児童生徒及び教職員の個人情報、成績情報、健康情報その他機微な情報については、生成A I へ入力してはならない。

(3) 著作権及び利用規約に配慮すること。

生成A I が生成した文章、画像等については、著作権及び各サービスの利用規約等に十分配慮すること。

(4) 生成A I へ過度に依存しないこと。

学習活動及び校務においては、自ら考えること及び人による判断を重視し、生成A I へ全面的に依存しないこと。

(5) 情報モラルを遵守すること。

不適切な利用、誹謗中傷、差別的表現、不正利用等を行わないこと。

第2編 生成A I 利用に関する指針

第1章 教職員が校務で利用する場合の指針

1 校務利用の目的

生成A I は、教職員の業務負担軽減及び業務効率化を図り、児童生徒と向き合う時間や授業準備の時間を確保するための手段の一つとして活用するものとする。

教職員は、生成A I を活用することにより、文書作成、情報整理、教材研究等の業務を効率化し、教育活動の質の向上につなげることが期待される。

なお、生成A I は教職員の判断や責任に代わるものではなく、あくまで業務を支援する補助的なツールとして利用するものとする。

2 本方針における校務利用の定義

本方針における校務利用とは、児童生徒への指導を目的とした利用ではなく、教職員が校務を遂行するために生成A Iを活用することをいう。

具体例として、以下のような利用を想定する。

- (1) 学級通信の作成
- (2) 保護者向け通知文の作成
- (3) 研修資料の作成
- (4) 会議資料の作成
- (5) 会議記録の要約
- (6) アンケート結果の整理
- (7) 授業アイデアの発想
- (8) ワークシート案の作成
- (9) 小テスト問題案の作成
- (10) 表計算関数の作成支援
- (11) I C T機器設定に関する情報収集

3 利用可能な生成A I サービス

南幌町教育委員会は、特定の生成A I サービスの利用を義務付けるものではない。

ただし、学校アカウントによる利用、情報管理、児童生徒への指導との整合性等を考慮し、Google Workspace for Educationで提供されるGeminiを利用することが望ましい。

Gemini以外の生成A I サービスを利用する場合は、利用規約及び情報の取扱いについて十分留意するものとする。

DeepSeekなど、中国系A I サービスの利用には諸リスクがあるため、使用しないことを強く推奨する。

4 校務利用における留意事項

- (1) 個人情報を入力しないこと
- (2) 成績情報を入力しないこと
- (3) 生徒指導情報を入力しないこと
- (4) 健康情報を入力しないこと
- (5) 機密情報を入力しないこと
- (6) 出力内容を鵜呑みにしないこと
- (7) 必ず教職員が内容を確認すること

5 働き方改革のための積極的活用

南幌町教育委員会は、生成A Iを教職員の働き方改革を推進するための有効な手段の一つとして位置付ける。

教職員は、校務の効率化が期待できる場面において積極的に生成A Iを活用し、創出された時間を児童生徒への指導、教材研究及び教育活動の充実に充てることが望ましい。

第2章 学習活動で利用する場合の指針

1 学習活動における生成A I利用の目的

生成A Iは、児童生徒の学びを支援し、情報活用能力を育成するための手段の一つとして活用するものとする。

児童生徒が将来の社会において生成A Iを適切に活用できるよう、教職員は発達段階に応じた指導を行うものとする。

2 学習活動における基本的な考え方

生成A Iは、児童生徒の学習を支援する補助的なツールであり、児童生徒自身の思考や判断に代わるものではない。

教職員は、児童生徒が生成A Iを利用する際に、次の事項を理解できるよう指導するものとする。

- (1) 生成A Iは誤った情報を生成する可能性があること
- (2) A Iの回答が常に正しいとは限らないこと
- (3) 情報の真偽を確認することが重要であること
- (4) A Iの回答をそのまま提出してはならないこと
- (5) 最終的な判断は人が行うべきであること

3 利用が期待される学習場面

- (1) 探究学習
- (2) 文章表現活動
- (3) 外国語教育
- (4) プログラミング教育
- (5) 個別最適な学習

4 利用にあたっての留意事項

- (1) 教職員の指導の下で利用すること
- (2) 個人情報を入力しないこと
- (3) 著作権に配慮すること
- (4) 学習活動を生成A Iへ丸投げしないこと

5 利用する生成A I サービスについて

児童生徒が学校において生成A Iを利用する場合は、学校が管理するアカウントで利用できるサービスを優先するものとする。

南幌町においては、利用規約において年齢制限のないGoogle Workspace for Educationで提供されるGeminiの利用が望ましい。

6 発達段階への配慮

(1) 小学校段階

生成A Iを体験的に利用しながら、A Iとは何か、A Iにも間違いがあること、情報を確認することの大切さを学ぶことを重視する。

(2) 中学校段階

生成A Iを活用しながら、情報の真偽を判断する力、批判的に考える力、適切な指示を与える力、A Iと協働する力を育成することを重視する。

7 南幌町教育委員会の考え方

南幌町教育委員会は、生成A Iを「禁止する対象」ではなく、「正しく使う方法を学ぶ対象」として捉え、安全性に十分配慮しながら活用を進めるものとする。

おわりに

生成A Iは、今後の社会において広く利用される技術であり、児童生徒が将来を生きていく上で、その特性を理解し適切に活用する力は重要な資質・能力の一つとなる。

また、教職員にとっても、生成A Iは校務の効率化や教材研究の支援など、働き方改革を推進する有効な手段となり得る。

南幌町教育委員会は、生成A Iを単に利用するだけでなく、その利点と課題の双方を理解した上で活用することを重視し、児童生徒の学びの充実と教職員の業務改善の両立を目指していく。

本方針は現時点における南幌町教育委員会の考え方を示したものであり、今後の技術動向、国

の方針及び学校現場における実践の蓄積を踏まえながら、必要に応じて見直しを行うものとする。

教職員一人ひとりが生成A I の特性を理解し、適切に活用することで、児童生徒が変化の激しい社会を主体的に生き抜く力を育むとともに、より良い学校教育の実現につながることを期待する。